急勾配天井取付金具

【33.1 度～ 44 度傾斜天井：￥19,700（税込￥21,670）】

22178

22170：チェスナットブラウン
22172：ブライトブラス
22174：ブラック
22175：ブラッシュトニッケル
22176：ホワイト
22178：アンティークブラス
27996：ニューブロンズ

※急勾配天井金具を使用した場合には、無線リモコンの受信機 を天井金具の中に収納することが出来ませんので壁付けコントロールを使用してください。

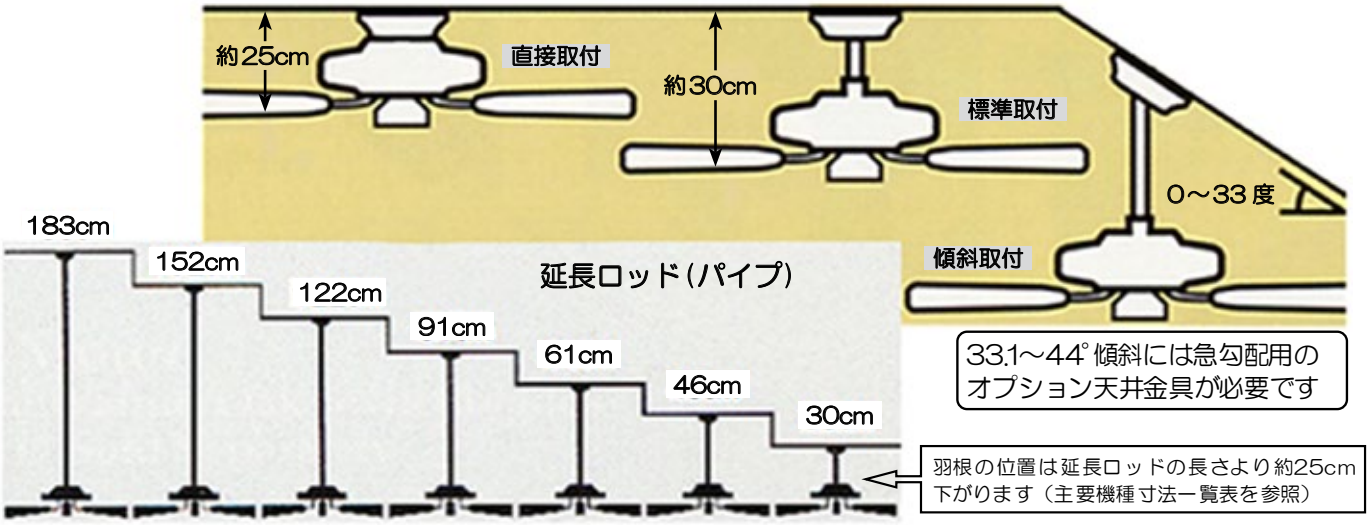
延長ロッド（パイプ）

製品番号・価格表

高気密防湿：◆
防湿　　：◆

長さ（cm）	30	46	61	91	122	152	183
価格（円）	8,400 (税込:9,240)	9,200 (税込:10,120)	10,600 (税込:11,660)	11,300 (税込:12,430)	14,400 (税込:15,840)	21,100 (税込:23,210)	24,100 (税込:26,510)
ｱﾝﾃｨｰｸﾋﾟｭｰﾀｰ (*1)	28054	28055	28056	28057	28058	28059	28060
ｱﾝﾃｨｰｸﾌﾞﾗｽ	22719	22729	26319	26329	26339	23190	23060
ｳｪｻﾞｰﾄﾞﾌﾞﾛﾝｽﾞ	28266	28267	28268	28269	28270	-	28271
ｻﾃﾝﾎﾜｲﾄ	28929	28930	28931	28932	28933	28934	28935
ﾁｪｽﾅｯﾄﾌﾞﾗｳﾝ	22711	22721	26331	26341	26351	-	23065
ﾌﾞﾗｯｼｭﾄﾆｯｹﾙ	26019	26020	26021	26022	26023	26024	26025
ﾌﾞﾗｯｼｭﾄｺｺｱ	64525	64526	64527	64529	64530	64531	99242
ﾌﾟﾛﾍﾞﾝｶﾞﾙｺﾞｰﾙﾄﾞ	28224	28225	28226	28227	28228	28290	28229
ﾌﾞﾗｲﾄﾌﾞﾗｽ	22713	22723	26313	26323	26333	23192	23062
ﾏｯﾄｼﾙﾊﾞｰ	99301	99302	99303	99304	99305	99306	99307
ﾆｭｰﾌﾞﾛﾝｽﾞ (*2)	26041	26042	26043	26044	26045	26046	26047
ﾎﾟﾘｯｼｭﾄﾆｯｹﾙ	99280	99281	99282	99283	99284	99285	99286
ﾌﾞﾗｯｸ (*3)	26302	26219	26227	26228	26229	23194	23064
ﾎﾜｲﾄ	22717	22727	26317	26327	26337	23197	23067
◆ﾏｯﾄｼﾙﾊﾞｰ	99730	99731	99732	99733	99734	-	-
◆ﾏｯﾄﾌﾞﾗｯｸ	99738	99739	99740	99741	99742	-	-
◆ﾌﾚｯｼｭﾎﾜｲﾄ	99746	99747	99748	99749	99750	-	-
◆ﾉｰﾌﾞﾙﾌﾞﾛﾝｽﾞ	99755	99756	99757	99758	99759	-	-

材質：軟鉄 (切断・長さ調節可能)　※高気密防湿用のロッドはステンレススチール製の為カットできません。
(*1)：ブラッシュトスレート機種に使用
(*2)：ブロンズ・ニューブロンズ機種に使用
(*3)：ブラック・アンティークブラック・グラファイト機種に使用



© KSC Corporation

シーリングファンの反転機能

シーリングファンには羽根の回転方向を反転させて送風方向を上向きと下向けに切換える為に、反転スイッチが**【ファン本体】**に装備されています。

写真はハンターの代表的機種の反転スイッチですが、メーカー及び機種によって反転切替スイッチの装備されている場所は違います。

外付けコントロール使用時

壁付けやリモコンの【外付けコントロール】を使用する場合、**外付けコントロールにはファンの速度切替と照明の操作のみで反転機能はありませんので、本体のスイッチを切替えて反転します。**

反転機能を外付けコントロールで出来る仕様に設計する事自体は容易な事ですし、その仕様の機種も市場に沢山出回っていますが、弊社扱いのメーカの製品ではあえて反転機能を本体に別スイッチとして設け外付けコントロールで操作しない機構で作られているのには理由があります。

壁付けやリモコンの外付けコントロールで反転できる機能にすると、構造的にモーターの内部に反転機能付きの制御装置（ファンの回転と反転）を装備が必要となります。 その為コントロールが故障もしくは摩耗による取替時期が来た場合にはシーリングファンを取外してモーター内部の制御装置（コントロール）をそっくり交換する事が必要となります。

その作業にはかなりの経費がかかり、特に吹抜けなどの高所取付の場合には足場を組んで取外しが必要となりますので膨大な費用が発生してしまいます。
コントロールは通常短期間で取換えが必要になる事はありませんが常にファンの操作を繰り返すのでスイッチの接触部品が摩耗し、使用頻度や状況に因って耐用年数に違いは出ますがいずれ何年か後に交換時期がくる事は避けられません。（高頻度の場合4～5年が目途）
その理由により、通常一年に2回しか使わない【反転機能】ですので、後のメンテナンスの事を考慮してあえて本体に別スイッチで装備する様に設計されています。

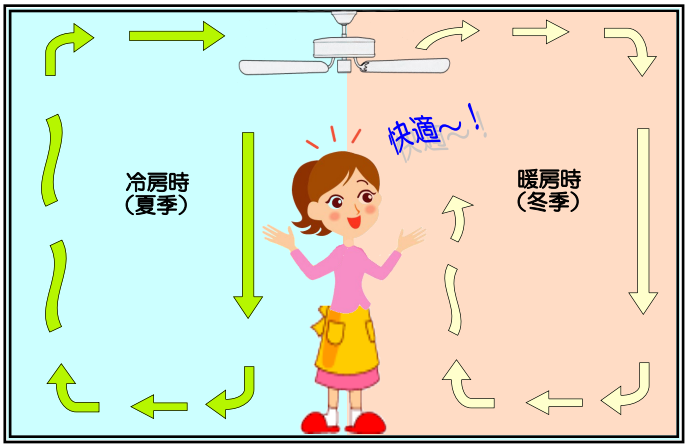
高所取付時（吹抜け天井）の反転操作

反転で送風方向を変える目的は、夏季には下向け送風で空気の流れで体感温度を下げますが冬季（暖房時）には空気の流れを強く感じる事による空冷効果を防ぐ為に上向きに送風方向に反転します。 高所取付の場合、反転スイッチが本体に装備されていればスイッチに手が届かないので操作できないという疑問を抱く人も出てきます。

通常の天井高の場合には上向き送風でも天井付近の暖気を壁伝いに床まで押し下げて部屋全体が暖かくする空気循環を生み出せますが、吹抜け天井などの高所に設置した場合には上下の空間が広い為に上向き送風では暖気を効果的に床まで押下げる事が困難となります。
その為**【下向け送風】**で暖気を床まで押下げます。下向け送風でもファンの位置が高いので空冷効果が発生する程の空気の流れを感じない為、下向け送風でも効果的で快適に暖気を床まで押下げる事が出来ます。【次ページ資料参照】
つまり高所取付の場合には一年中下向けに送風する為、**『反転機能』は使わないので操作の必要がありません。**

ファンの取付位置と回転(送風)方向

通常の天井高（約3.5m以下）



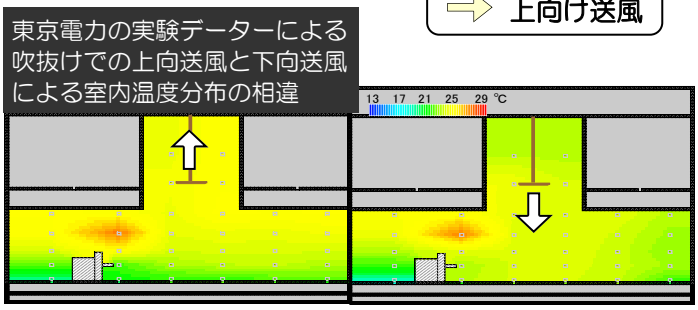
通常天井高の部屋(3.5m以下)では標準取付又は直接取付がお勧めです。

寒い時(暖房時)には【上向き送風】にして天井の暖かい空気を壁伝いに床まで下ろしながら、暖房を部屋全体均一に循環し温度ムラを防ぎます。

暑い時(冷房時)には【下向き送風】にして空気の流れで体感温度を下げると同時に、冷房の冷気を部屋全体均一に循環し冷え過ぎと温度差を防ぎます。

吹抜けの天井高（約3.5m以上）

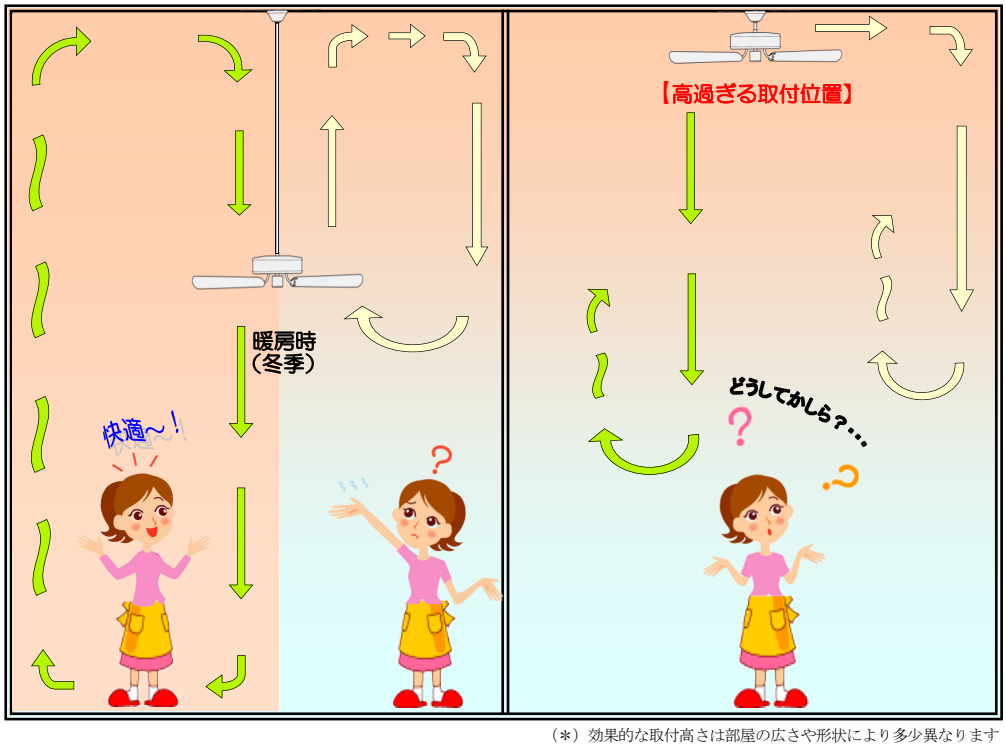
吹抜天井などの天井高が高い(3.5m以上)の空間に取付ける場合には、延長ロッドを使い最大限の空気循環効果が得られる高さに取付ける事が重要です。



高過ぎる位置に取付けると
【空気の低い伝導率】の為に、どちら方向に送風しても空気が床まで押下げ　られずに、空気自体の温度差による浮力で途中で上昇してしまいます。（下右図）

延長ロッドを使ってファンの位置が床から『約4.5m以下』になる様取付けると効果的です（＊）。
暑い時(冷房時)には【下向き送風】にして空気の流れで体感温度を下げると同時に、冷房併用の場合にはエアコンからの冷気を部屋全体均一に循環し冷え過ぎと温度差を防ぎます。

寒い時や暖房時に上向きに送風すると送風空間(距離）が大き過ぎる為に、天井の暖気を床に届くまで押下げる事が出来ず途中で上昇してしまい床まで届きません。
その為【下向け送風】をして暖気を床まで押し下げて空気循環を起こします。
つまり**【一年中下向け送風】**にします。



（＊）効果的な取付高さは部屋の広さや形状により多少異なります